クイックガイド

# Atrust P2Tシンクライアント

基本編

Atrust

**Version 2.03**

© 2017-2020 Atrust Computer Corp.

# 著作権および商標に関する声明

© 2017-2020 Atrust Computer Corp. All rights reserved.

This document contains proprietary information that is protected by copyright. No part of this document may be photocopied, reproduced, or translated to another language without the prior written consent of Atrust Computer Corp.

### 免責事項

Atrust Computer Corp. (“Atrust”) makes no representations or warranties with respect to the contents or use of this document, and specifically disclaims any express or implied warranties of merchantability or fitness for any particular purpose. Atrust is not liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is subject to change without notice.

### 商標に関する声明

Atrust is a trademark of Atrust Computer Corp.

Microsoft, Windows, Windows Server, RemoteFX, and MultiPoint are trademarks or registered trademarks of the Microsoft group of companies.

Citrix, ICA, XenApp, XenDesktop, and VDI-in-a-Box are trademarks of Citrix Systems, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered in the United States Patent and Trademark Office and in other countries.

VMware, VMware View, and VMware Horizon View are trademarks or registered trademarks of the VMware, Inc.

PCoIP is a registered trademark of Teradici Corporation in the United States and/or other countries.

The Parallels and 2X are registered trademarks of Parallels International GmbH.

Other product names mentioned herein are used for identification purposes only and may be trademarks and/or registered trademarks of their respective companies.

# このユーザーズマニュアルについて

このマニュアルでは、既存のコンピューターとAtrust P2T USBを使用して、Atrust OSベースのシンクライアントエクスペリエンスを提供する方法について説明します。

## マニュアルの構造と主題

| 章 | 件名 |
| --- | --- |
| 1 | Atrust P2T USBの使用方法について説明します。 |
| 付録 | 起動に関する指示、サポート性に関する情報、セットアップノート、およびテスト済みデバイスの既知の問題を提供します。 |

## 注意、ヒント、警告

このマニュアルでは、次の形式の注記、ヒント、および警告を使用して、重要な情報、有用なアドバイスを提供し、怪我、デバイスの損傷、またはシステム上のデータの損失を防ぎます。

**注意**

- 注記は、特定の状況に関する重要な情報を提供します。

**ヒント**

- ヒントは、タスクをより効率的に実行するための便利なアドバイスを提供します。

**警告**

- 警告は、怪我、デバイスの損傷、またはシステム上のデータの損失を防ぐために従わなければならない重要な情報を提供します。

# 安全および規制に関する情報

## 規制声明

**連邦通信委員会の干渉声明**
この装置はテスト済みであり、FCC規則のパート15に基づくクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅地での設置において有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置状況で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、機器の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。ユーザーは、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変えます。
- 機器と受信機の距離を離します。
- 受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

***FCC*の注意：**コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。このデバイスは、FCC規則のパート15に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります。（1）このデバイスは有害な干渉を引き起こさない可能性があり、（2）このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

**重要な注意点*:***

***FCC*放射線被ばくに関する声明**
この装置は、制御されていない環境に対して示されているFCC放射線被ばくの制限に準拠しています。この機器は、ラジエーターとあなたの体の間の最小距離が20 cmになるように設置および操作する必要があります。

この送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。

***WEEE*（廃電気電子機器）指令**

欧州連合では、この記号はこの製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。回収とリサイクルを可能にするために、適切な施設に保管してください。適切な廃棄については、地域のリサイクルまたは有害廃棄物センターにお問い合わせください。

***RoHS 2*（有害物質の使用制限）指令**
Atrust Computer Corp.のこの製品は、電気電子機器（RoHS 2）における特定の有害物質の使用制限に関するEU指令2011/65 / EUの要件を満たしています。 CEマーキングは製品に応じて適用されます。

***REACH*（化学物質の登録、評価、認可、制限）規制**
REACH（EC 1907/2006）は、化学物質の固有の特性をより早期に特定することにより、人間の健康と環境の保護を改善することを目的としています。これは、REACHの4つのプロセス、つまり化学物質の登録、

評価、認可、および制限によって行われます。 REACHは、EUの化学業界のイノベーションと競争力を強化することも目的としています。 Atrust Computer Corp.およびそのサプライヤーは、REACHの要件を満たすために必要な措置を講じています。

# 基本を学ぶ

次のトピックでは、P2Tシンクライアントの基本的な使用方法について説明します。

トピック *1:* クイック接続画面
トピック *2:* タイムゾーンの構成
トピック *3:* クイック接続画面に戻る（必要な場合）
トピック *4:* デスクトップまたはアプリケーションへのアクセス

- Microsoftリモートデスクトップサービス（RDPセッション）
- Citrix Services（ICAセッション）
- VMware ViewまたはHorizon Viewサービス（ビューセッション）
- Parallels RASまたはリモートデスクトップサービス（2Xセッション）

## トピック 1: クイック接続画面

P2Tシンクライアントの使用を開始するには、次の手順を実行してください。

1. (a)**トピック 2** に移動して、初めて使用するタイムゾーンを設定します。
   (b)タイムゾーンが設定されている場合は、 **トピック 4** に進みます。

**Atrustクイック接続画面**

| | |
|---|---|
| Power Off | アイコンをクリックして、システムを一時停止、シャットダウン、または再起動します。 |
| Local Desktop | アイコンをクリックして、ローカルLinuxデスクトップに入ります。<br>ローカルLinuxデスクトップからこの画面に戻るには、**トピック 3**を参照してください。 |
| Setup | アイコンをクリックして、Atrust Client Setupを起動します。 |
| Mixer | アイコンをクリックして、オーディオ設定を構成します。 |
| Network | ネットワークタイプ（有線または無線）とステータスを示します。<br>アイコンをクリックして、ネットワーク設定を構成します。 |

## トピック 2: タイムゾーンの構成

P2Tシンクライアントのタイムゾーンを設定するには、次の手順を実行してください。

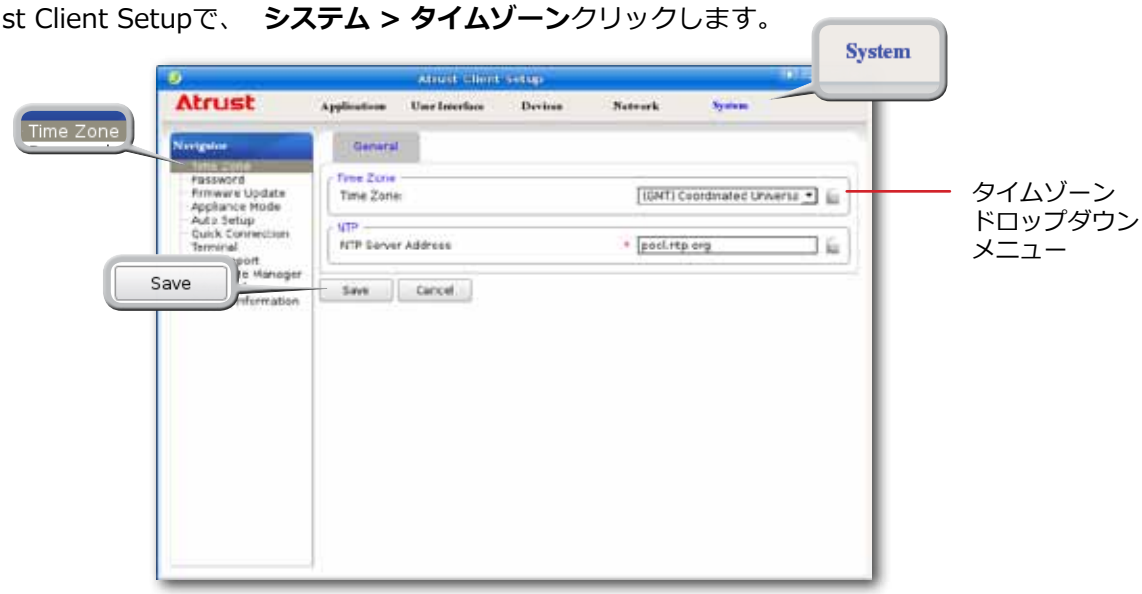
1. **Setup** アイコンをクリックして、Atrust Client Setupを起動します。

**Atrustクライアントのセットアップ**

**注意**

- Atrust Client Setupを使用してクライアント設定を構成し、P2Tシンクライアントをカスタマイズする方法の詳細については、P2Tシンクライアントのユーザーマニュアルを参照してください。

2. Atrust Client Setupで、 **システム > タイムゾーン**クリックします。




3. [タイムゾーン]ドロップダウンメニューをクリックして、目的のタイムゾーンを選択します。
4. **[保存]** をクリックして適用し、Atrust Client Setupを閉じます。

## トピック 3: クイック接続画面に戻る

ローカルLinuxデスクトップで***Atrustクイック接続画面***に戻るには、そのデスクトップで***Atrustクイック接続***をダブルクリックしてください。

**ローカルLinuxデスクトップ**

## トピック 4: デスクトップまたはアプリケーションへのアクセス

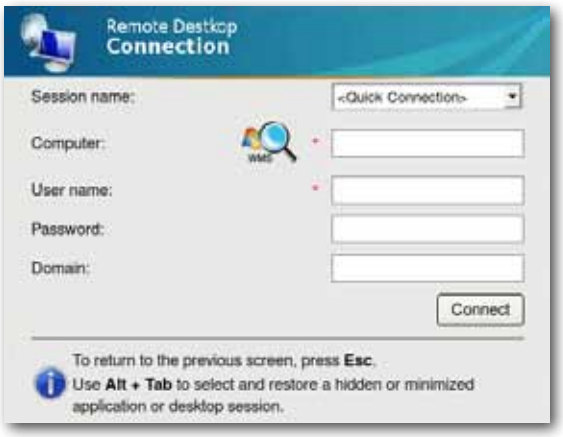
Atrust クイック接続画面から、3種類のデスクトップ仮想化サービスにアクセスできます。
**リモートデスクトップ**, **Citrix**, および **VMware View**. **Parallels RAS** / **リモートデスクトップ**の場合、カスタマイズされた接続ショートカットを使用してサービスにアクセスできます。

### Microsoftリモートデスクトップサービスへのアクセス

Microsoftリモートデスクトップサービスにアクセスするには、次の操作を行います。

1. Atrust クイック接続画面で

をクリックします。
2. 表示されたウィンドウで、サーバーのコンピューター名またはIPアドレス、ユーザー名、パスワード、およびドメイン（ある場合）を入力し、 **[接続]**をクリックします。




**注意**

- ネットワークを介して利用可能なWindows MultiPoint Serverシステムを検出するには、以下を行ってください：

    1. [コンピュータ]フィールドの左側にある

をクリックします。
    2. 完了すると、検索結果を示すウィンドウが表示されます。

    3. ドロップダウンメニューをクリックして目的のシステムを選択し、**[OK]**をクリックします。
    4. 選択したシステムのIPアドレスが[コンピュータ]フィールドに表示されます。

- ***Atrust* クイック接続画面**, に戻るには、 **Esc**を押します。

3. リモートデスクトップが画面に表示されます。

## Citrixサービスへのアクセス

### サーバーへの接続

Citrixサービスにアクセスできるサーバーに接続するには、次の操作を行います。

1. Atrust クイック接続画面で

をクリックします。
2. 表示される ***Atrust Citrix*接続画面で、**サーバーの適切なIPアドレス/ URL / FQDNを入力し、**[ログオン]**をクリックします。

**Atrust Citrix接続画面**

**注意**

- FQDNは絶対ドメイン名の略です。
- ***Atrust* クイック接続画面**に戻るには、 **Esc**を押します。

### *Citrix*サービスへのログオン

サーバーに接続すると、***Citrix*ログオン画面**が表示されます。表示される画面とCitrixサービスに必要な認証情報は、サービスの種類とバージョンによって異なる場合があります。

**注意**

- 「この接続は信頼できません」という警告メッセージが表示される場合があります。詳細についてはIT管理者に相談し、接続が最初に安全であることを確認してください。
- セキュリティ証明書をインポートするには、P2Tシンクライアントのユーザーマニュアルを参照してください。
- **バイパスする**には、**[リスクを理解する]> [例外を追加]> [セキュリティ例外の確認]** をクリックします。

以下は、Citrixログオン画面の2つの例です。

**XenApp 6.5 Platinum:**

**Citrixログオン画面**

必要なユーザー名、パスワード、ドメインを入力し、**[ログオン]**をクリックして仮想アプリケーションにアクセスします。

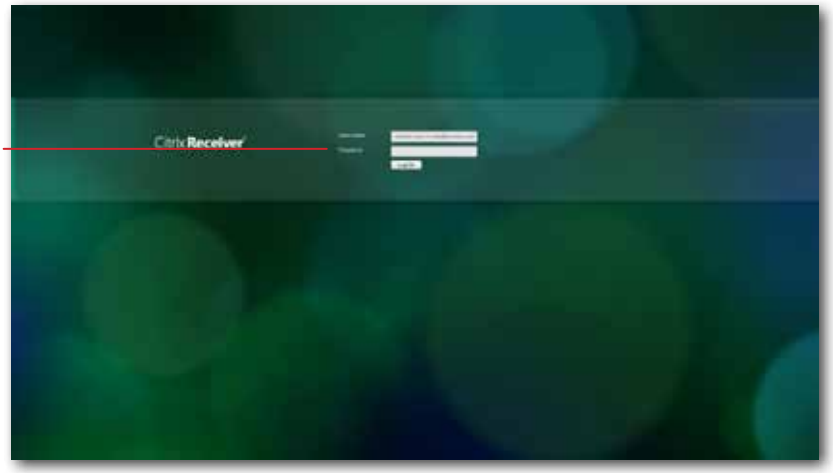
**注意**

- Atrustクイック接続画面に戻るには、Escを押します。
- XenAppサーバーがどのドメインにも属していない場合は、サーバーのコンピューター名を「ドメイン」フィールドに入力します。

**XenAppおよびXenDesktop 7.5 Platinum :**

**Citrixログオン画面**

必要なユーザー名とパスワードを入力し、**[ログオン]**をクリックして仮想デスクトップまたはアプリケーションにアクセスします。




**注意**

- Atrustクイック接続画面に戻るには、Escを押します。

## 仮想デスクトップとアプリケーションへのアクセス

ログオン後、**デスクトップの選択画面**または**アプリケーションの選択画面**に入ります。画面で、目的のデスクトップまたはアプリケーションをクリックして選択できます。

**注意**

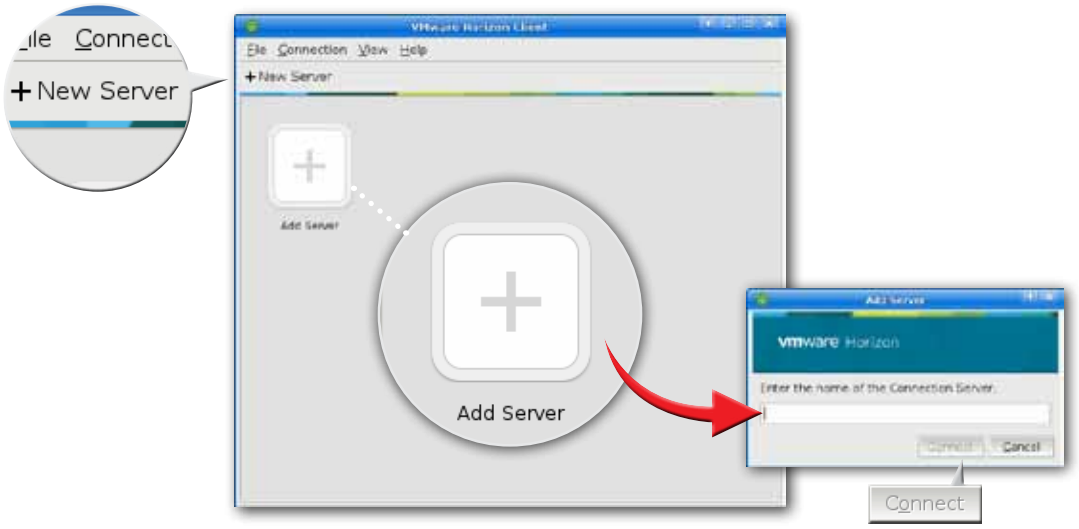
- アプリケーション選択画面をクリックすると、画面が前面に表示され、起動されたすべてのアプリケーションウィンドウが非表示のままになります。**Alt + Tab**を使用して、非表示または最小化されたアプリケーションウィンドウを選択して復元します。
- 仮想デスクトップまたはアプリケーションを終了すると、**デスクトップの選択**または**アプリケーションの選択画面**に戻ります。画面では、次のことができます。
  - クリックして別の仮想デスクトップを起動するか、他のアプリケーションを起動します。
  - 画面上部の**[ログオフ]**をクリックして、**Citrixログオン画面**に戻ります。
  - **Escを押して、Atrustクイック接続画面に直接戻ります。**

## VMware ViewまたはHorizon Viewサービスへのアクセス

VMware ViewまたはHorizon Viewサービスにアクセスするには、以下を実行してください。

1. Atrust Quick Connection画面で

をクリックします。
2. 開いたウィンドウで、**[サーバーの追加]**アイコンをダブルクリックするか、左上隅の**[新しいサーバー]**をクリックします。 VMware View接続サーバーの名前またはIPアドレスの入力を求めるウィンドウが表示されます。
3. 必要な情報を入力し、**[接続]**をクリックします。

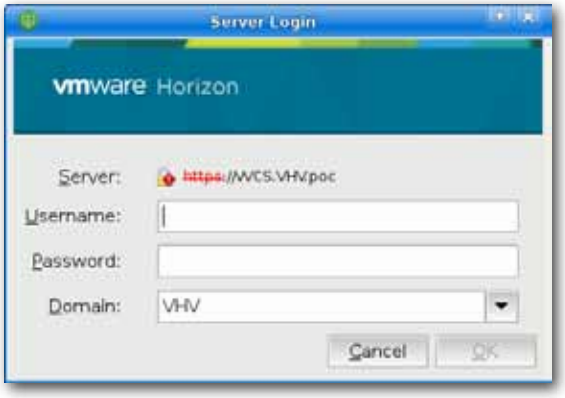



**注意**

- **Atrustクイック接続画面に戻るには、開いているウィンドウを閉じます。**

4. ウェルカムウィンドウが表示される場合があります。**[OK]**をクリックして続行します。

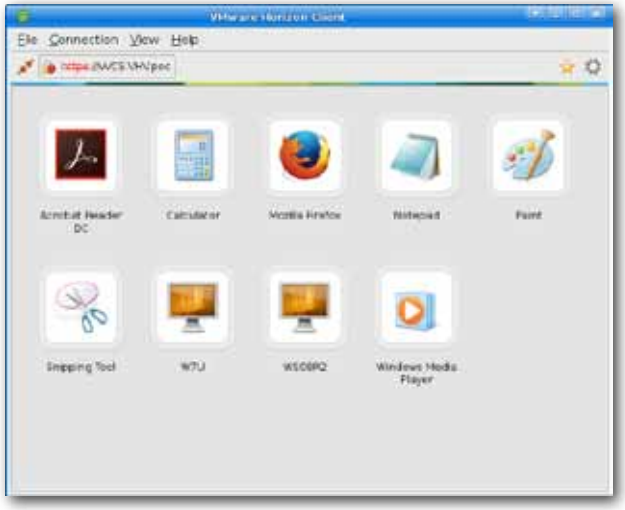
5. 資格情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、[ドメイン]ドロップダウンメニューをクリックしてドメインを選択し、**[OK]**をクリックします。




**注意**

- リモートサーバーに関する証明書メッセージがウィンドウに表示される場合があります。詳細についてはIT管理者に相談し、接続が最初に安全であることを確認してください。
- セキュリティ証明書をインポートするには、P2Tシンクライアントのユーザーマニュアルを参照してください。
- **バイパスする**には、**[安全でない接続]**をクリックします。

6. デスクトップとアプリケーションのリストが表示され、提供された資格情報で使用可能なデスクトップやアプリケーションが表示されます。ダブルクリックして、目的のデスクトップまたはアプリケーションを選択します。

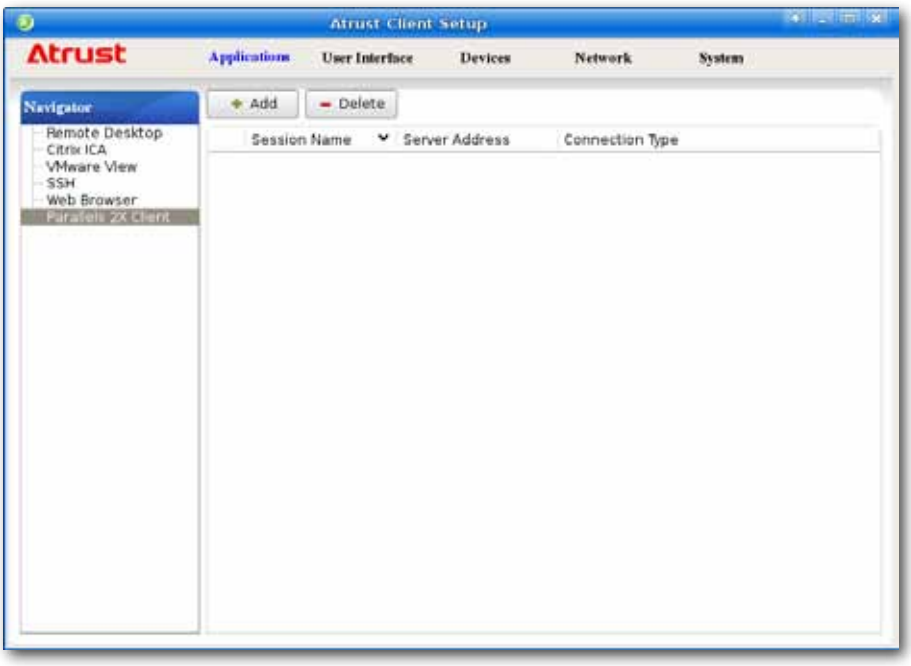



7. 仮想デスクトップまたはアプリケーションが画面に表示されます。

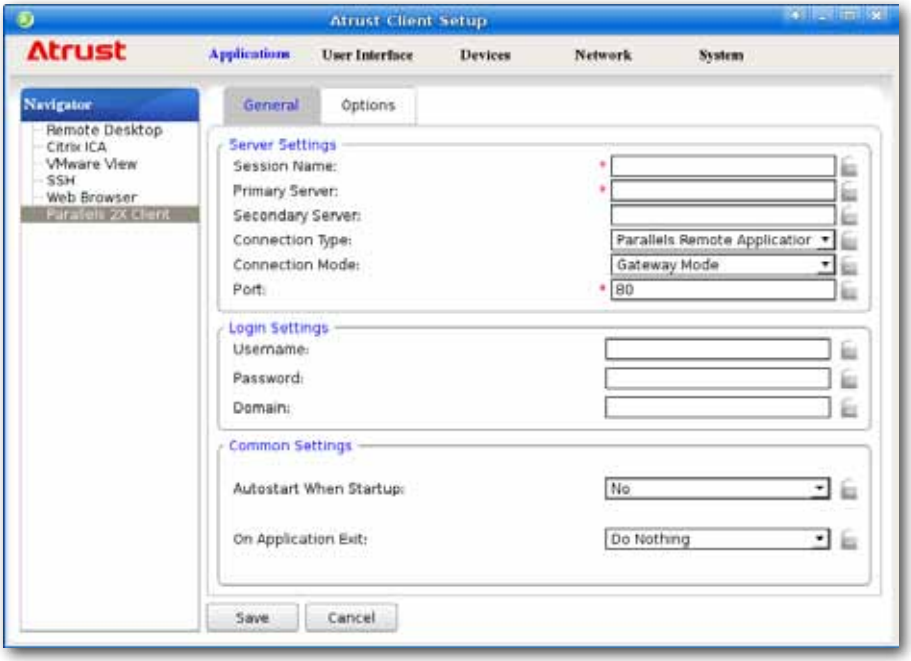
## Parallels RASまたはリモートデスクトップサービスへのアクセス

Parallels RAS /リモートデスクトップサービスにアクセスするには、次の手順に従ってください。

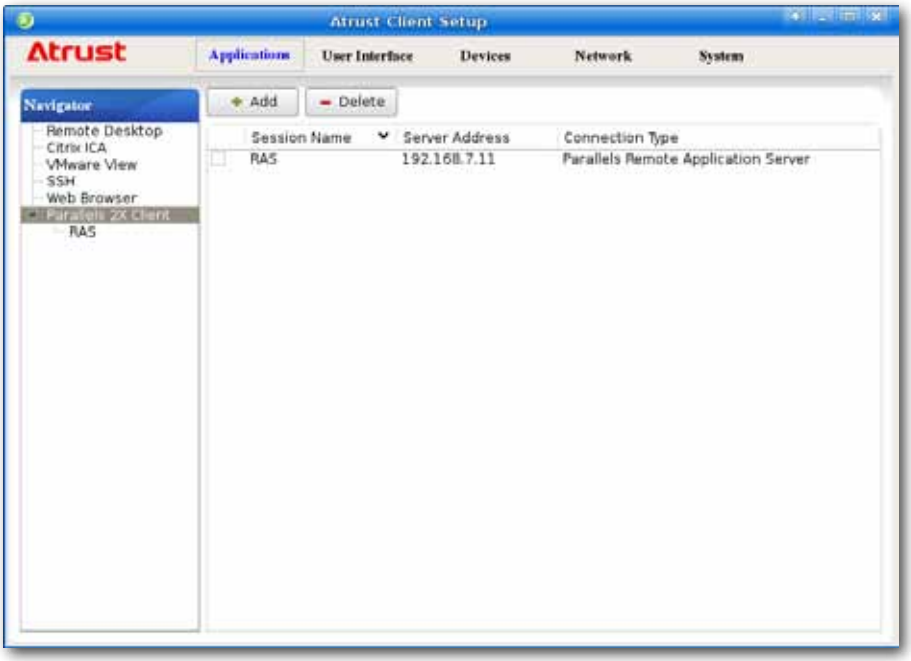
1. Atrustクイック接続画面で、 をクリックしてローカルLinuxデスクトップに入ります。
2. **スタート>設定> Atrust Client Setup**をクリックします。
3. Atrust Client Setupで、**[アプリケーション]> [Parallels 2X Client]**をクリックします。
4. 上部の**[追加]**をクリックして、接続設定の新しいエントリを作成します。




5. **[全般]**サブタブで、接続タイプとして**[Parallelsリモートアプリケーションサーバー]**または**[標準RDP]**を選択し、セッション名とプライマリサーバーアドレスを入力して、**[保存]**をクリックして確定します。



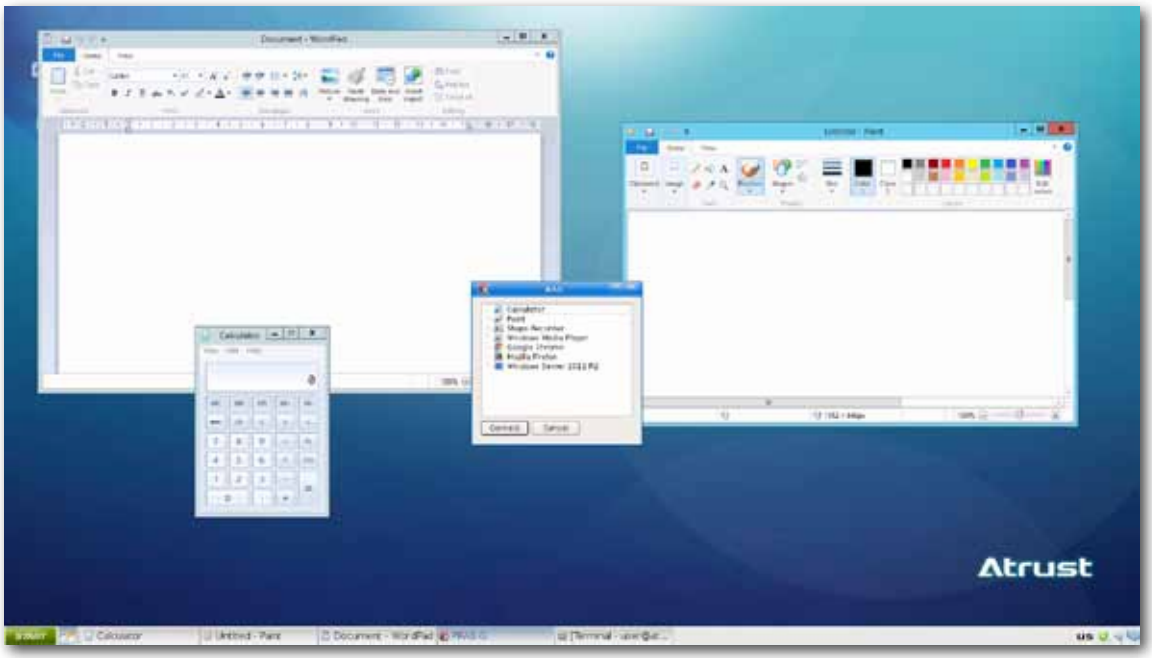

6. 新しいエントリがRAS / RDP接続リストに追加され、ローカルデスクトップと[スタート]メニューにショートカットが自動的に作成されます。

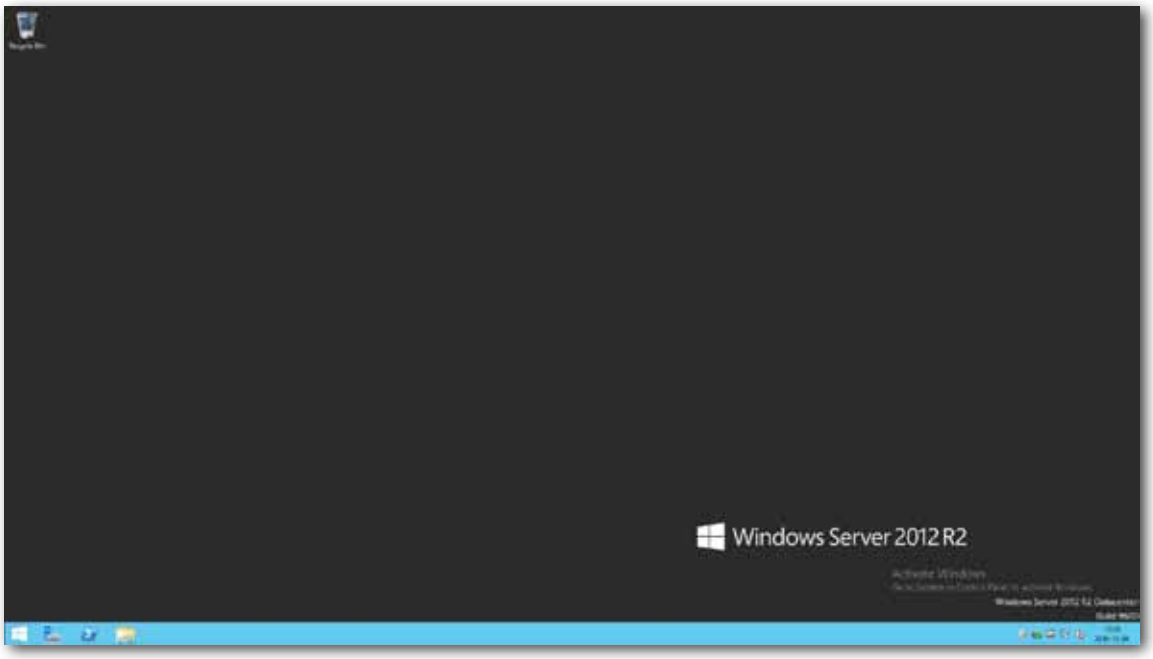



7. ローカルデスクトップまたは[スタート]メニューのショートカットをダブルクリックします。
8. 開いたウィンドウで、必要に応じて資格情報を入力し、**[OK]**をクリックします。

9. RAS接続の場合、使用可能なアプリケーションとデスクトップがウィンドウに表示されます。目的のアプリケーションまたはデスクトップをクリックし、**[接続]**をクリックして確認します。
   RDP接続の場合、リモートデスクトップに直接ログインします。

10. アプリケーションまたはデスクトップが画面に表示されます。






**注意**

- デスクトップが全画面で表示されます。

Atrust